

わがまち自慢⑪ 「吉名町のじゃがいも」

吉名町では、気候や土壌の条件に恵まれ、良質なじゃがいもが約100年前から生産されています。

吉名のじゃがいも「まる吉」は、昭和38年の秋作が生産量、1kg単価ともに日本一に。現在は最盛期に比べ生産量が落ちていくものの、「まる吉」ブランドを復活させるため、地道で趣向を凝らした取り組みが行われています。

吉名中学校では、校庭にある250㎡のじゃがいも畑で、秋ばれいしよの植えつけを行っています。



生徒たちに指導するのは、元矢和司さん。「郷土の誇りであるじゃがいもと、農業の大切さを伝えたい。」と、熱い思いで13年間教育にあたっています。栽培方法の指導だけでなく、収穫したじゃがいもを東京の百貨店で販売も。農業を営む上で大切な、生産から販売までの一貫した流れを授業の中で教えています。

また、じゃがいもを使ったレシピを公募する「じゃがワングランプリ」は、これまで4回実施されました。企画した、農家レストラン西野の西野弘美さんは、「じゃがいもの可能性を子どもたちに伝えたい。」という思いで始めたそうで、レシピは100種類以上に！7年目になるお店も、「じゃがいも農家を元気にするには、お店をするのが近道。」と思い始めたこと。最近では、テレビなどにも多く取り上げられ、竹原や吉名のじゃがいもを知ってもらいたい機会になっていくと言います。

関わる人が元気になる吉名のじゃがいもを、今後も伝えていきたいですね。



▲昭和30年代後半の吉名町 一面にじゃがいも畑が広がる

かぐやパンダ通信

かぐやパンダのクリスマス



12月14日、かぐやパンダは、たけはらふれあい館のクリスマス会に参加しました。子どもたちは、手作りの可愛いかぐやパンダのお面をつけて歓迎。かぐやパンダにとつて、最高のクリスマスプレゼントとなりました。

かぐやパンダ体操をして、子どもたちの元気な笑顔に囲まれ、いつも以上に「のほん、のほん」としたかぐやパンダ。新しい年も、多くの人とふれあう年にしたいな、と思っているようです。今年もどうぞよろしくお祈りします！

ティータイム

午年です。竹原市のこの一年が、元氣よく走る馬の如く、勢いよく飛躍する年になればと思います。これからも市内を縦横無尽に駆け回って、みなさんに役立つ情報をお届けします！(吉) (ちなみに、吉名じゃがいもの商標「まる吉」とは偶然の一致です。)

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	28,280人
男	13,441人
女	14,839人
	12,835世帯
1年前	28,804人
5年前	30,057人

— 12月1日現在 —

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課

「市長への私の提案」係 FAX 22-0998

※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。